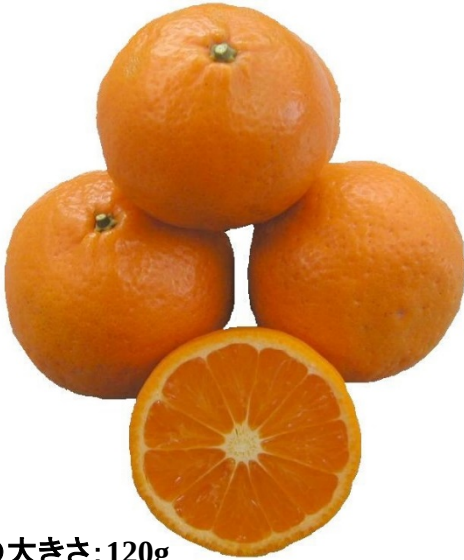


## 濃厚な食味が特徴の無核性品種 「かんきつ中間母本農6号」

- \* 「かんきつ中間母本農6号」は、晩生のマンダリン「キング」に、無核性で早生の「無核紀州」を交配して育成した品種です。
- \* 成熟期は2月上旬、やや小果ですが、完全無核で、濃厚な食味が特徴です。
- \* 果肉、果皮等に各種機能性成分を豊富に含んでいます。
- \* 生食のみならず、高品質果汁としての利用が期待されます。
- \* 連年結実性で、豊産性、病虫害の発生も少なく、省力栽培の可能性をもった品種です。



### 果実特性

- ・果実の大きさ: 120g
- ・果実の糖度: 12.0%
- ・果実の酸含量: 1.10%
- ・ $\beta$ -クリプトキサンチン含量: 0.60mg/100g\*
- ・ノビレチン含量: 5.5mg/g\*\*

\* : 果汁100gあたり

\*\* : 果皮乾物1gあたり (成熟期 2月分析)



風味がよく、高糖度で濃厚な食味が特徴です。果皮に精油成分が多く、剥皮時の手の汚れが気になる場合は、ナイフでカットして利用するのがいいです。果肉には $\beta$ -クリプトキサンチンが、また果皮にはノビレチンが豊富に含まれる。風味や食味を生かしたジュースは非常に好評です。



左図は、高接ぎ樹の無摘果の場合の結実状況です。小果の割合が高く、生食果実としての収益性は低下しますが、収量性は高まり、省力化がはかれます。また、豊産性で栽培管理が容易であるのに加えて、この場合でも、適期収穫すれば、翌年極端な隔年結果は見られません。

実需者等が入手可能な形態: 苗木または果実

連絡先: (独)農研機構 果樹研究所 業務推進室

TEL 029-838-6453